

平成30年度子育てサポーターズフォーラム (地域サポーター育成事業)

12月5日(水)、京都府口丹波勤労者福祉会館において、子育てサポーターズフォーラムを開催しました。南丹管内の幼稚園から高等学校までのPTAや教職員等の学校関係者や社会教育関係者、民生児童委員など、様々な立場から南丹地域の子育てに関わっていただいている方々約120名の参加がありました。

本フォーラムは、地域で子どもを包み込み育む環境づくりを進めるため、地域学校協働活動について理解を深め、子育て支援ネットワークを広げるという趣旨で行いました。講演とグループ協議で地域学校協働活動への理解を深めました。



講演「今、なぜ地域と学校の協働なのか」

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 准教授 上田真弓 様

「今、なぜ地域と学校の協働なのか」と題しての講演は、今後の社会の変化について考えることからスタートしました。未来を生きていく子どもたちに育てたい力について学びました。次に子どもたちに力をつけるために、どんな仕組みや仕掛けが活用できるのかを具体的な事例をあげて紹介がありました。

地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるため、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動として「地域学校協働活動」が、今後、地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」へと発展することが目指されていることについて説明がありました。子どもだけでなく、大人もともに学び合い、育ち合うことの大切さ、社会変化の中で、「次世代に渡すバトン(地域・社会)」を考えてチャレン



シを続けることの大切さを実感することができる講演でした。

最後に、講師より「子どもの未来を語ることは、地域の未来を語ること」というメッセージが送られました。

グループ協議 「地域みんなで子どもたちの未来を考えよう」

グループ協議では講演を受けて、テーマを「地域みんなで子どもたちの未来を考えよう」をテーマに、短時間ではありましたが、参加いただいた方々がそれぞれの立場から意見を出し合い、熱心な協議がなされました。

参加者の感想

「学校地域で補い合い、違った立場の人と対話することが大切になってくると感じました。次世代にどうつなげていくか考えていかなければいけないと思いました。」

「現在も地域の方々の多くの支えを感じておりますが学校と地域が同じ目標を持つという点でのこれからの活動が楽しみだと感じました。」

「なぜ、学校と地域の協働が必要なのかがよく分かりました。このことにより、子どもたちがどのように変わっていったらいいか、社会人となってどのように影響しているのか、今後の研究を期待しています。」

「『生きる力』というのは子ども達だけでなく自分の日常を思う中でとても大切だと思いました。日頃から子ども達と『知識と知恵はどう違う？』という話をします。今、日本全体として知識をつめこむだけではない学習、学校教育に向かっている空気がわかってよかったです。」

大変貴重な御意見をいただき、ありがとうございました